

研究課題名：	自己免疫性肝炎の実態調査
所属(診療科等)：	公立昭和病院 消化器内科
研究責任者(職名)：	細川 貴範 (医長)
研究期間：	2017年5月1日～2017年12月30日
研究目的と意義：	自己免疫性肝炎はガイドラインでは維持療法中や寛解中においても、年1～2回は専門医によるチェックが望ましいとされているが、再燃があっても自覚症状はほとんどないため来院時に採血結果が確認できない施設での治療を困難とし、かかりつけ医への紹介の障壁になっていると考えられる。再燃の早期予測と再燃予防のための適切な治療戦略を明らかにするべく検討を行う。
研究内容：	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象となる患者さん 自己免疫性肝炎で当院通院中の患者さんを対象とする。</li> <li>●利用するカルテ情報 診断名、病歴、身体所見、検査結果、診療についての記載等</li> <li>●研究方法 当院に通院中の自己免疫性肝炎患者の受診時のデータについて後ろ向きに検討を行う。</li> <li>●利用する研究機関の範囲 公立昭和病院</li> </ul>
問い合わせ先：	<p>【研究担当者】  氏名：細川 貴範 (消化器内科医師)  住所：小平市花小金井8丁目1番1号  電話：042(461)0052(代表) FAX：042(464)7912</p> <p>【ご意見・相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く)  総務課 042(461)0052 内線2247  受付時間：月～金 9:00～17:00(祝・祭日を除く)</p>